

新型コロナウイルス感染拡大に伴うボランティア活動についての考え方
～ボランティア活動を考えている皆様へ～

ボランティア活動を行うにあたっては、『自分自身が感染するリスク』と『(知らずに)感染させてしまうリスク』の2つがあることに十分に留意して、慎重に行動するようにお願いします。

●まず、今、私たちがしなければならないこと

感染予防のための行動(こまめな手洗い等)を、一人一人が面倒くさらず、確実に丁寧に実行しましょう。

●活動を行う場合に留意すること

(1) 自分自身で気を付けること

- ①発熱(37℃以上)や咽頭痛、咳等の風邪症状の他、味や匂いを感じないなど味覚や嗅覚に異常を感じるなど、少しでも体調不良や異変を感じている場合、絶対に活動を行わないようにしてください。「これくらいなら大丈夫」という安易な判断は避けてください。
- ②活動時は、①検温、②消毒、③マスク着用に気を付ける。

(2) ボランティア活動先に確認すること

- ①感染拡大に伴い、ボランティアの受け入れを中止しているところがたくさんありますので、活動が可能かを必ず確認してください。
- ②感染予防のために、ボランティアに求めていること(検温の実施等)等について確認。

●その他

活動に際して、不安なことがあればあかいわボランティアセンター(または各ステーション)にご相談ください。

【お問い合わせ先】あかいわボランティアセンター及び各ステーション

あかいわボランティアセンター 〒709-0821 赤磐市河本778-1 (山陽総合福祉センター内) TEL:086-955-8877 FAX:086-955-7788 Mail: chiiki@akaiwasakyou.or.jp			
山陽ステーション	赤坂ステーション	熊山ステーション	吉井ステーション
〒709-0821 赤磐市河本 778-1 TEL:955-8877 FAX:955-7788	〒701-2222 赤磐市町苅田 517-1 TEL:957-2334 FAX:957-4835	〒709-0705 赤磐市松木 636-1 TEL:995-2336 FAX:995-2642	〒701-2595 赤磐市周匝 136 TEL:954-2533 FAX:954-2454

＜感染予防のための行動＞

- (1) 石鹸と水で手を洗い、感染のリスクを最小限に抑える。
- (2) 目、鼻、口を触らない。
- (3) 正しいマスクの着用を含む咳エチケットの実践。
- (4) 握手などの接触を避ける。
- (5) 不要不急外出の自粛や人込みを避ける。
 - ① 感染が拡大している地域への往来を控える。
 - ② 感染が拡大している地域のかたと濃厚接触がある場合は2週間程度を目安に活動を控える。
- (6) 活動等を実施する際は①～⑦に留意する。
 - ① 始める前に、参加者全員、手洗い又は手指のアルコール消毒を実施。
 - ② マスクの着用。
 - ③ 出来るだけ参加者間の間隔をあける。(1.5m以上)
 - ④ 換気をこまめに実施。
 - ⑤ 換気の悪い、狭い空間で大人数(部屋の収容人数の半分以上)では行わない。
 - ⑥ 出来るだけ短時間で終了するようにする。
 - ⑦ 体調不良の際には欠席する。
- (7) 帰宅後のうがい、手洗い、消毒を忘れない。

熱中症にも気をつける

注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなり、気づかぬうちに脱水になるとなど、体温調整がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

